

校長ブログ「赤岩中 校長日記」で日々の学校の様子をお伝えします。ぜひご覧ください。



【教育目標】

大好きです！ 笑顔とあいさつあふれる赤岩中

赤岩中だより

令和6年9月 第6号

北区立赤羽岩淵中学校

校長 井口尚明

TEL 03-5249-4071

◇自ら学び心身ともに健康な生徒◇自他の生命を尊重する生徒◇自己責任を備え進んで社会貢献する生徒

長い夏休みが終わりました。記録的な猛暑による被害や大雨による災害など、今年の夏も不安が高まる場面が多かったと感じています。このような状況でしたが大きな事故等の報告もなく、元気な生徒たちの声がまた学校に戻ってきました。何よりもうれしく思います。ご家庭や地域の皆様のご配慮のおかげと感謝申し上げます。

挑戦と感動 夏の成果を土台にしてさらなる前進を！

今年の夏も、赤岩中生が全力で挑戦している姿に出会うことができました。

1年生は海を教室として岩井臨海学園でライフセーバーと一緒に様々なメニューに積極的に取り組んでいました。「命の大切さ」や「自然の偉大さ」、「思いやりの心」など、生きていくために必要なことを体験を通して学ぶことができました。

2年生では学習教室が行われ、多くの生徒が参加して学力向上を目指して頑張っていました。また、運動部の新チーム作りや作品の制作、コンクールや文化発表会に向けた練習など、3年生と協力して2年生が部活動の中心となって活動していました。

3年生は進路決定に向けて、学習面での努力はもちろん、高校説明会等に参加して情報収集にも努めていました。北区進路フェアで高校の説明を真剣に聞いている3年生の姿が印象に残っています。

7組はプール教室に積極的に取り組みました。体力向上や泳力向上を目標に、先生方と一緒に楽しく挑戦していました。

部活動では、猛暑の中、生徒も先生も汗をかきながら、夏休みにしかできない練習や活動に一生懸命取り組んでいました。コンクール等の応援に行きましたが、順位や勝ち負けよりも、赤岩中生が目標に向かって真剣に取り組んでいる勇姿に感動しました。

また、地域の活動などで、自分を向上させようと頑張っている姿を見ることができてうれしかったです。夏休みの挑戦とそこから生まれた感動は、今後の学校生活で大きく実を結ぶはずです。

学校評議員会が行われました



報告が遅くなりましたが、7月6日（土）に第1回学校評議員会を実施しました。学校評議員の皆様は、家庭・地域の期待に応える学校運営が推進できるように、広い視点から意見等を示して学校を支援してくださる方々です。

【令和6年度学校評議員】1年間よろしくお願ひします。 <敬称略・順不同>

- ・森岡謙二（元北区教育委員長）
- ・石渡良憲（岩淵町自治会長）
- ・木村映二（青少年志茂地区委員会会長）
- ・沼野重厚（青少年赤羽地区委員会会長）
- ・中田博司（主任児童委員）
- ・堀内康二（非行のない明るい街づくり赤羽連絡協議会長）

・桑子 淳（前PTA会長）

・寺山俊哉（現PTA会長）

北区立学校生徒海外交流事業 **派遣生徒 決定！**

8月21日に決定通知書交付式が行われ、派遣生徒が以下の4名に正式に決定しました。

2-2高田 和東 2-3秋山 岬 2-3鍛冶舎 直央 2-5重竹 宏香



＜派遣期間＞11月7日～17日

＜派遣先＞米国カリフォルニア州ウォルナットクリーク市 セブンヒルズスクール

赤岩中の代表、北区の代表、そして日本の若き親善大使としての自覚を胸に、何事にも全力で挑戦してきてくれることを願っています。そして、学んだ成果をたくさんの赤岩中生に広く伝えてください。

赤岩中生が頑張りました！（7/19、9/2 表彰記録）

○サッカー部 北区夏季大会 第3位

○卓球部 北区夏季大会 女子シングルス 第5位：3-6矢部 彩音（都大会出場）

○吹奏楽部 第64回東京都中学校吹奏楽コンクール B組 銀賞

○男子ソフトテニス部 北区シード権大会

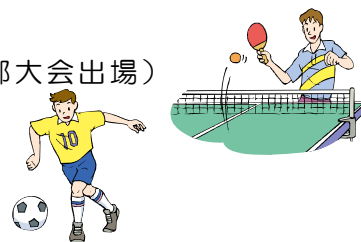
団体戦：準優勝

個人戦：準優勝：2-2青木 悠里 2-2藤原 壮一郎

第3位：2-3秋山 岬 2-2出口 大智

○女子ソフトテニス部 北区シード権大会

団体戦：第3位



地域・保護者の皆様

安心安全な学校生活を目指して



令和4年4月1日に「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」が施行されました。この法律の趣旨及び目的等を踏まえ、改めて本校の教育活動を再点検しました。そして、より安心安全な教育活動を行うことができるように、生徒たちに対して「学校内外において性暴力が許されないこと、困ったことや心配なことがあれば必ず相談すること」について、夏休み前の全校集会で話しました。また、生徒向けの相談窓口をお知らせし、全校生徒に相談シートを配布しました。

本校においては、教職員が指導上やむを得ず生徒と一対一になる場合は管理職に報告することを徹底し、メールやSNSでの個人的なやり取りを行わないことを指導しております。なお、教職員による不必要な身体接触は決してあってはならないものですが、生徒の安全や生命を守るための介助や対応などは当然必要な指導と考えております。

ご家庭におかれましても、お子様の声に耳を傾けたり、学校生活における出来事などについて話し合う機会をもったりする中で、お子様について何か心配なことがありましたら、遠慮なく学校にご相談ください。あるいは、配布した相談シートやご案内させていただいた相談窓口等をご利用ください。

北区立赤羽岩淵中学校長 井口 尚明